Rのデータ構造

Andrew Ba Tran

Contents

ベクトル
データフレーム
リスト
オブジェクトを操作するための関数
演習

This is from the first chapter of learn.r-journalism.com.

ベクトル

ベクトルは、同じ基本型のデータ要素を順序付けた集まりです。ベクトルを構成する部分は、**コンポーネント**または**要素**と呼びます。

vec1 < -c(1,4,6,8,10)

vec1

[1] 1 4 6 8 10

ベクトル'vec'は関数'c()'によって表されます。

vec1[5]

[1] 10

ベクトルの要素は、`[i]`のようにインデックスを指定すれば表示できます。

vec1[3] <- 12 vec1

[1] 1 4 12 8 10

このように、配列内の要素の一つが新しい数字に置き換えられています。

vec2 <- seq(from=0, to=1, by=0.25) vec2

[1] 0.00 0.25 0.50 0.75 1.00

これは、ベクトルを作成するもう一つの方法である'seq()'、つまりシーケンス関数を示しています。

sum(vec1)

[1] 35

データフレーム

スプレッドシートを使った作業に慣れている人は、Rではデータフレームが最も扱いやすいでしょう。 これは配列からデータフレームを作成する方法です。完全に理解する必要はありません。 スプレッドシートをインポートすると、データはあらかじめ構造化されています

```
patientID <- c(111, 208, 113, 408) age <-
c(25, 34, 28, 52) sex <- c(1,2,1,1)
diabetes <- c("Type1", "Type2", "Type1", "Type1") status <- c(1,2,3,1)
patientdata <- data.frame(patientID, age, sex, diabetes, status) patientdata
##
          patientID age sex diabetes status
## 1
         111 25 1
                             Type1
                                      1 ## 2
         208 34 2
                             Type2
                                    2 ## 3
         113 28 1
                                      3 ## 4
                             Type1
         408 52 1
                             Type1
```

これが実際に起こっていることです。一連の配列が作成され'data.frame()'という関数がデータフレーム構造に結合しているのです。

データフレームの要素を取得するには:

```
# :は"から"という意味です。
patientdata[1:2]
```

```
## patientID age
## 1 111 25 ## 2
208 34 ## 3
113 28 ## 4
408 52
```

したがって1:2 は1 から2 という意味です。

patientdata[c("diabetes", "status")]

```
## diabetes status
## 1 Type1 1 ## 2
Type2 2 ## 3
Type1 3
## 4 Type1 1
```

patientdata\$age

[1] 25 34 28 52

patientdata[1:2]

```
##
        patientID age
## 1
          111 25 ## 2
          208 34 ## 3
          113 28
              408 52
## 4
patientdata[c(1,3),1:2]
##
        patientID age
         111 25 ## 3
## 1
          113 28
patientdata[2:3, 1:2]
##
        patientID age
## 2
              208 34
## 3
              113 28
mean(patientdata$age)
```

[1] 34.75

mean(patientdata[,2])の代わりに、patientdata\$ageで列を参照することができます。

mean(patientdata\$age)

[1] 34.75

`patientdata`の`age`を参照するための別の方法にはこうしたものもあります。しかし、この方法はめったに使いません。

リスト

Rのもう一つの基本構造は *list* です。リストの最大の利点は、ベクトルの集まりである「列」(実際の順番として並んではいない)が、行列やデータフレームとは異なり、同じ長さでなくてもよいことです。

JSON ファイルのようなものは構造化されています。

```
g <- "My First List"
h <- c(25, 26, 18, 39)
#次の行は、1 から(「:」)10 までの5 行の行列を作成しています。
j <- matrix(1:10, nrow = 5) k <- c("one", "two", "three") mylist <- list(title = g, ages = h, j, k)
こうすればリストを作業スペースに表示できます。
names(mylist)
```

[1] "title" "ages" "" *"""*" リストにあるものを見つけるには

```
mylist[[2]]
## [1] 25 26 18 39
mylist[["ages"]][[1]]
## [1] 25
上記のコードはリストからデータを抽出します。
mylist$age + 10
## [1] 35 36 28 49
リストの番号を参照し使用するには、このようにします。
オブジェクトを操作するための関数
以下の sample df データフレームでやってみましょう。
#次のコードを実行してください。
sample_df <- data.frame(id=c(1001,1002,1003,1004), name=c("Steve", "Pam", "Jim",
"Dwight"), age=c(26, 65 sample_df$name <- as.character(sample_df$name)
sample_df
##
      id
           name age
## 1 1001 Steve 26 White ## 2 1002
       Pam 65 Black ## 3 1003
              White
       Jim 15
## 4 1004 Dwight
                  7 Hispanic
length(x)-オブジェクトまたは配列に要素が何個あるかを調べます。
length(sample_df$name)
## [1] 4
nchar(x)-xが文字列の場合、何文字あるかを調べます。
sample_df$name[1]
## [1] "Steve"
nchar(sample_df$name[1])
## [1] 5
dim(x) - x の列数と行数を表示します。
dim(sample_df)
## [1] 4 4
ncol(x) - 列を数えます。
```

ncol(sample_df)

[1] 4

nrow(x) - x の行数を返します。

nrow(sample_df)

[1] 4

str(x) - x の構造を表示します。

str(sample_df)

'data.frame': 4 obs. of 4 variables:

\$ id: num 1001 1002 1003 1004

\$ name: chr "Steve" "Pam" "Jim" "Dwight"

\$ age : num 26 65 15 7

\$ race: Factor w/ 3 levels "Black", "Hispanic",..: 3 1 3 2

summary(x)-Rが理解しうる範囲でオブジェクトを要約します。

summary(sample_df)

id name age race ## Min. : 7.00 :1001 Length:4 Min. Black :1 ## 1st Qu.:1002 Class:character 1st Qu.:13.00 Hispanic:1 Mode :character ## Median :1002 Median:20.50 White :2

Mean :1002 Mean :28.25

3rd Qu.:1003 3rd Qu.:35.75

Max. :1004 Max. :65.00

View(x) - RStudio で閲覧するためにオブジェクトを開くコマンドです。

View(sample_df)

rm(x) - x を削除します。

rm(sample_df) sample_df

Error in eval(expr, envir, enclos): object 'sample_df' not found

演習

[演習](http://code.r-journalism.com/chapter-1/#section-data-structures-in-r) を通じてこのセクションの知識を身につけましょう。

エクササイズアプリの実行に関する説明は、このセクションの[紹介ページ](http://learn.r-journalism.com/en/how_to_use_r/)にあります。